

みらぼくたより

まちづくり団体
未来をぼくらの手で

No. 8

2016年6月発行

若者と選挙

十八歳から選挙に行くと「想い」を届けよう。

A, 18歳選挙権が施行されましたが、以下の四点に注意してください！！
一、17歳以下は、特定の候補者を当選させるための活動である、「選挙運動」をしてはいけません！
二、電子メールを使用した選挙運動をしてはいけません！
三、選挙管理委員会で認められた候補者のビラやポスター以外は、配ったり掲示したりしてはいけません！
四、選挙期間外に選挙運動をしてはいけません！
上記を守った上で、18歳以上ならば自由に以下の事をできます！
一、自分で選挙運動メッセージを掲示板やブログに書き込む！
二、選挙運動メッセージを SNS など で広める！
三、選挙運動メッセージを動画投稿サイト等に投稿する！
◎公選法を守って楽しく選挙！

Q, なぜ選挙権年齢を18歳に引き下げたの？

18歳選挙権

Q, 18歳選挙権で気を付けるべきことは？

Q, 若者が選挙に行かないのはまずいことなの？

Q, 若者がいまできる一番簡単な政治参加は？

A, 選挙権年齢を18歳に引き下げた理由は、政府として日本の未来を作り出す存在である10代にもより政治に参画してもらいたいと考えたから！より早く選挙権を持たせれば、社会の担い手であるという意識を若いうちから持つてもらえるし、しっかりと政治に関わる若者が増えてくれると考えたから！

A, 若者が選挙に行かない事については彼らが投票しないことで損を被ることはあまりありません。しかし若者にとっては大損です！理由は簡単で、政治家は次山票を投じてくれる世代向けの施策を行うから！東北大学の吉田浩教授は実際に論文でこの事を証明しており、若年層の投票率の推移と政府予算の統計を分析した所、若年層の投票率が1%下がるごとに、若者は1人あたり年に**13万5000円分の不利益**を被ると述べております。

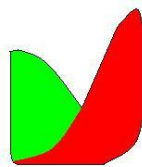
A, ずばり、選挙投票です！選挙に行って投票する以上に簡単な政治参加はありません！他には県政参画電子アンケート(<http://www.pref.tottori.lg.jp/enquete/>)に答えたり陳情や請願を出したりといった政治参画もあります。

鳥取市のみなさんこんにちは！僕たちは、鳥取市とつくば市とのまちづくり団体である「未来をぼくらの手で」と申します。僕らは10代から20代前半のメンバーからなり、今年選挙の重要さを訴えて、二つの選挙について選挙投票啓発活動などを行っております。さて、今回は来月十日が投票日である夏の参議院議員選挙に関連して「若者と選挙」というテーマで選挙に関する情報を発信していきます！！

グループリーダーのプロフィール

富井篤弥

Atsuya Tomii
埼玉県朝霞市出身20歳
現在公立鳥取環境大学在学中
「未来をぼくらの手で」を16歳の時に設立し現在、選挙投票の重要性やその意義を訴える活動を行って、私たちの政治参画の拡大に努めております！



未来をぼくらの手で

Since 2011

市民参加型社会の構築を焦点として、2011年12月につくば市で立ち上げました。2016年は二つのミッションを掲げて活動しており、一つ目は来月の参議院議員選挙の投票率を**60%以上**にすること、二つ目は今秋のつくば市長/市議会議員選挙の投票率を**60%以上**にする事です。よって選挙投票の意義や重要性を皆様に伝える年にしていきます。勿論、選挙に関わる豊富な情報発信も行いますので宜しくお願いします！
公式HP <http://miraiisourhunds.jimdo.com/>

7月10日参院選！
18歳から投票所！
～その一票が未来を創る～

みらぼくの公式ブログのQRコードです→
客観的で中立かつ公平な選挙情報が確認できます！



Copyright2016 未来をぼくらの手で All Rights Reserved.

仮設事務局所在地〒689-1111 鳥取県鳥取市若葉台北1丁目1番地1号-4105-C区